平成29年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉県社会福祉研修センター
条例上の設置目的	社会福祉の増進及び男女共同参画社会の形成の促進を図るため、市民の自主的な活動及び交流の場を提供するとともに、各種の事業を行うこと。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	多様化、高度化する福祉ニーズに対し、質・量ともに充実したサービスを提供するため、福祉を担う人材の養成と資質の向上を図ること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉事業の従事者を対象に、福祉制度の改正状況、求められる知識、技能、参加者のニーズを踏まえた幅広い研修を計画的かつ体系的に実施すること。 ・一般市民を対象に、福祉に関する幅広い知識に触れる機会を提供する研修を実施すること。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により効率的に福祉を担う人材の養成と資質向上を図ること。
成果指標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 研修の延べ参加者数 ② アンケート総合評価（5点満点）の平均点
数値目標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 延べ定員の90%以上の参加者数 ② 全研修を通じて4.3点以上
所管課	保健福祉局地域福祉課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	千葉県ハーモニープラザ管理運営共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	<ul style="list-style-type: none"> 【代表団体】社会福祉法人千葉県社会福祉事業団 【構成団体】社会福祉法人千葉県社会福祉協議会 ※社会福祉研修センター担当 【構成団体】公益財団法人千葉県文化振興財団
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉県中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）
選定方法	非公募
非公募理由	千葉県ハーモニープラザは、平成28年度から平成29年度の2年間において、施設全体のあり方を検討・調整することとしており、次期指定管理者の選定にあたっては、指定期間が原則の5年間より短い2年間であっても安定した施設運営が可能な団体を暫定的に選定する必要があることから、千葉県公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第2条第3号の規定に基づき、非公募で選定を行うこととした。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H29年度実績	達成率※
研修の延べ参加者数	延べ定員の90%以上 (3,079人以上) (指定管理研修)	80.4% (2,750人) (指定管理研修)	89.3%
アンケート総合評価 (5点満点)の平均点	4.3点以上 (指定管理研修)	4.59点 (指定管理研修)	106.7%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	H29年度実績
研修室利用率	88.1%

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
指定管理料	実績	49,563	49,324	実績－計画	0	—
	計画	49,563	49,324	計画－提案	△ 1,720	印刷製本費、通信運搬費の縮減
	提案	51,283	49,433			
その他収入	実績	111	121	実績－計画	111	研修に係るテキスト代等（受講者から徴収）が発生したため
	計画	0	0	計画－提案	0	—
	提案	0	0			
合計	実績	49,674	49,445	実績－計画	111	
	計画	49,563	49,324	計画－提案	△ 1,720	
	提案	51,283	49,433			

イ 支出

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
人件費	実績	35,002	36,494	実績－計画	△ 1,001	職員異動による減少
	計画	36,003	35,803	計画－提案	△ 90	職員異動による減少
	提案	36,093	35,142			
事務費	実績	4,231	4,516	実績－計画	△ 499	賃借料、研究研修費等の縮減
	計画	4,730	4,775	計画－提案	△ 1,207	租税公課の縮減
	提案	5,937	5,441			
委託費	実績	32	72	実績－計画	△ 60	マイナンバー委託料、給与システム委託料の縮減
	計画	92	310	計画－提案	△ 15	マイナンバー委託料、給与システム委託料の縮減
	提案	107	104			
事業費	実績	7,439	7,648	実績－計画	△ 1,299	講師謝礼、消耗品等の縮減
	計画	8,738	8,436	計画－提案	△ 275	印刷製本費、教養娯楽費の縮減
	提案	9,013	8,616			
その他 ※	実績	0	0	実績－計画	0	—
	計画	0	0	計画－提案	△ 133	備品購入費の縮減
	提案	133	130			
本社費・共通費	実績	0	0	実績－計画	0	—
	計画	0	0	計画－提案	0	—
	提案	0	0			
合計	実績	46,704	48,730	実績－計画	△ 2,859	
	計画	49,563	49,324	計画－提案	△ 1,720	
	提案	51,283	49,433			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

※「人件費」には、退職手当積立資産支出を含む。

※「その他」は、固定資産取得支出。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H29年度	【参考】 H28年度
自主事業収入	実績	85	34
その他収入	実績	0	0
合計	実績	85	34

イ 支出

(単位：千円)

費目		H29年度	【参考】 H28年度
人件費	実績	0	0
事務費	実績	3	2
委託費	実績	0	0
使用料	実績	0	0
事業費	実績	482	208
利用料金	実績	0	0
本社費・共通費	実績	0	0
合計	実績	485	210

※自主財源による補填：(H27年度)24千円、
(H28年度)176千円
(H29年度)400千円(内280千円は県補助)

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H29年度	【参考】H28年度
必須業務	収入合計	49,674	49,445
	支出合計	46,704	48,730
	収支	2,970	715
自主事業	収入合計	85	34
	支出合計	485	210
	収支	△ 400	△ 176
総収入		49,759	49,479
総支出		47,189	48,940
収支		2,570	539
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
①研修の延べ参加者数	C	数値目標：延べ定員の90%以上（3,079人以上） 実績数値：延べ定員の80.4%（2,750人） 目標達成率：89.3% ※介護人材不足の恒常化により受講対象者である施設職員、介護専門職員の研修参加が困難となりつつあること等による。
②アンケート総合評価（5点満点）の平均点	B	数値目標：4.3点以上 実績数値：4.59点 目標達成率：106.7%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
- B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
- C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

〔評価項目②について〕※5点満点（目標達成率116%）の場合にAとなるよう調整

- A：成果指標が市設定の数値目標の116%（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
- B：成果指標が市設定の数値目標の101%以上116%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
- C：成果指標が市設定の数値目標の81%以上101%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の56%以上81%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の56%未満

(2) 市の施設管理経費削減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	（平成29年度）提案額：51,283千円、指定管理料：49,563千円 ※削減率3.4%（削減額/提案額）

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- （D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
- －：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理				
	市民の平等利用の確保	C	C	・研修の受講対象者は、管理運営の基準どおり設定され、適正な施設運営がなされている。
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力				
	(1) 人的組織体制の充実	C	D	・事業計画どおりに職員を配置し、研修参加も計画的に行われている。 ・月次事業報告書の提出が複数月にわたり遅延したほか、年次事業報告書にも誤記が散見された。
	管理運営の執行体制			
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務	C	C	・備品台帳を作成し、所在の確認や清掃、点検等を定期的に行っている。
	施設の保守管理			
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮				
	(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	・ハーモニープラザのイベント時の市民向け講座開催や、自主事業を休日（日曜日）または、平日（夜間）に実施するなどして、幅広い施設利用の確保に努めている。
	開館時間・休館日			
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実	C	C	・聴覚障害のある受講者に対し手話通訳者を派遣するなど、利用者の状況に応じた支援が実施できる体制となっている。
	利用者への支援			
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施	C	C	・自主事業として、「かいごの学校inちば」を平成27年度より継続して行っている。また、「ヨルゼミ」を平成29年度より実施している。
	施設の事業の効果的な実施			
	自主事業の効果的な実施			
4 その他				
	市内業者の育成	C	C	・物品購入時に市内業者の優先利用、市内雇用への配慮、障害者雇用の確保、雇用の安定化への配慮等について適切に対応している。
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
管理運営については、介護人材の定着に向けて指導側の研修を取り入れていただきたい。	平成28年度	平成29年度からキャリア創生研修区分の人材育成・OJT実践者研修において、指導者のスキルを上げるコミュニケーションの取り方等について、重点的に研修内容に組み込んでいる。
社会福祉法の改正などに対応したタイムリーな内容の研修の開催については評価する。今後も同様の姿勢を継続していただきたい。	平成28年度	平成29年度も引き続き、「トップセミナー」において社会福祉法改正（社会福祉法人制度改革）に関する研修を企画・実施した。（受講率 93.3%）

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	ア 調査方法：アンケート記入方式
	回答者数	イ 回答件数：2, 344件
	質問項目	ウ 質問項目：※社会福祉施設職員向け研修、行政職員向け研修のアンケートは質問項目が多岐に渡るため、ここでは市民向け講座（社会福祉セミナー）の質問項目のみを記載。 (1)館内の快適さ (2)建物・トイレ等の清潔さ (3)配布資料への満足度 (4)講義時間への満足度 (5)講義・解説のわかりやすさ (6)期待した知識・技術が学べたか (7)当該セミナーへの総合評価 (8)当該セミナーの印象や受講したいテーマ (9)参加者の年代・性別・居住区 (10)当該セミナーを知ったきっかけ (11)案内表示のわかりやすさ
結果	<p>◎アンケート総合評価結果 全体平均4.59点（5点満点）</p> <p>【社会福祉施設職員等向け研修】</p> <p>○管理運営部門研修（回答：77件）・・・平均点4.43点（4課程）</p> <p>○専門職研修（回答：379件）・・・平均点4.76点（9課程）</p> <p>○専門課題研修（回答：454件）・・・平均点4.67点（13課程）</p> <p>○キャリア創生研修（回答：83件）・・・平均点4.84点（4課程）</p> <p>【行政職員向け研修】</p> <p>○行政職員研修（回答：214件）・・・平均4.18点（6課程）</p> <p>【地域福祉従事者向け研修】</p> <p>○主任児童委員研修（回答：120件）・・・4.05点（1課程）</p> <p>【市民向け講座】</p> <p>○社会福祉セミナー（回答1,020件）・・・平均点4.94（1課程）</p>	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
特になし。	

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	<p>所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民向け講座参加者は、ちば市政だよりでの応募が大多数を占めているが、月2回発行から月1回発行に変更になってから、応募者数が減少した。周知方法の見直しを検討する必要がある。 ・ 自主事業である「かいごの学校」は、回を重ねるごとに認知されるようになってきており、それに加え新たに「ヨルゼミ」を平日夜間に開催することで、幅広い施設利用に取り組んだ。 ・ 社会福祉施設からの要望で、自施設での研修に対する講師の斡旋・紹介を行うなど、福祉職員の資質向上を支援した。
----------	---	---

(2) 市による評価

総括 評価	C	<p>所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「トップセミナー」において、社会福祉法改正（社会福祉法人制度改革）に関する研修実施を継続しており、前年度までに参加できなかった法人も含め、広く参加を募っている。（受講率：93.3%） ・ 平成27年度から継続している「かいごの学校 in ちば2017」や、平日夜間に実施する「ヨルゼミ」の開催は評価できる。 ・ アンケートの意見を取り入れ、これまで1回のみ実施していた研修を受講者が参加しやすように午前・午後の2部制に変更したことや要望の多い「介護予防体操」の研修実施など、受講率の増加に努めている。 ・ 研修全体の受講者数、受講率が低下した。社会的情勢やニーズを把握するとともに、広報・周知方法も含めた検討の必要がある。 ・ 月次、年次事業報告書について、提出の遅延や誤記が散見された。その後、状況は改善はされたが、職員の能力向上、管理執行体制の強化により一層努められたい。
----------	---	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。 ・ 管理運営については、概ね適切に管理が行われていると認められるが、次の事項に留意されたい。 <p>①介護に係る人材を幅広く養成していくとともに、介護人材不足が深刻なことから、研修に出やすい体制づくりに努めていただきたい。</p> <p>②現状の受講率を維持できるように、今後も引き続き努力していただきたい。</p>